科目ナンバリング	U-LAS70 10001 SJ50						
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー ：現地で学ぶ京都の建築 ILAS Seminar :Visiting the Site to Study Architecture in Kyoto			担当者所属 職名・氏名	工学研究科　教授　金多　隆 工学研究科　准教授　岩本　馨 工学研究科　准教授　西野　佐弥香		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期集中	受講定員(1回生定員)	12 (12) 人	配当学年	１回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 未定	教室	未定			使用言語	日本語
キーワード	建築計画および都市計画 / 建築史および意匠 / 京都 / 歴史 / 文化						

[授業の概要・目的]

京都の建築のあるべき姿と、それを構築するための設計理論を、実現された建築を通して学ぶ。

[到達目標]

・建築・都市に関する基本的事項を理解する。
・課題（レポート）に対して自主的，継続的に取り組む能力を養う。

[授業計画と内容]

（１）近代建築の利活用とまちづくり（西野 佐弥香）
近代建築を現代のニーズに合わせて利活用しつつ、望ましいまちのあり方を実現するための方策を現地のフィールドワークを通して考えたい。視察先については、その時期に視察可能な対象のなかから選定する。

（２）建築の生産と再生（金多 隆）
京都の市街地において新たに建築を生産すること、既存の建築を再生することの意義と難しさについて、実例をふまえつつ考察する。

（３）京都の町と町家（岩本 馨）
京都では、通りを挟んだ両側を単位とする町という地縁的共同体が今も生きている。祇園祭の時期の京都中心部を歩きながら、町と町家の関係について考える。

１テーマにつき、４～５回分の授業をまとめて前期のどこか１日（原則として土曜日もしくは休日）を使って講義を行う。
集中講義（計３日）とは別に、４月に初回ゼミを実施する。そこで具体的な日程を受講生と相談して決める。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

積極的受講態度、平常点、レポートによる。詳細は授業中に説明する。

ILASセミナー ：現地で学ぶ京都の建築(2)へ続く↓↓↓

ILASセミナー ：現地で学ぶ京都の建築(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
特になし

[授業外学修（予習・復習）等]

実地見学の前に、書籍・雑誌・インターネット等を通じて、見学対象の建築や町並みについて調べておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

交通費・拝観料等は受講生が負担する。
学生教育研究災害傷害保険へ加入していること。

[主要授業科目（学部・学科名）]